

国立大学法人三重大学の平成16年度に係る業務の実績に関する評価結果

1 全体評価

三重大学は、総合大学として、教育・研究の実績と伝統を踏まえ、「人類福祉の増進」、「自然の中での人類の共生」、「地域社会の発展」に貢献できる「人材の育成と研究の創成」を目指し、学術文化の受発信拠点となるべく切磋琢磨することを基本理念としている。

平成16年度においては、総務・企画・評価機構をはじめ、5つの機構を設置して大学運営組織が整備されている。学長を議長とする病院経営戦略会議を設置し、病院経営及び病院再開発等の改善方策の検討を開始している点や、学長主導の「目標チャレンジ活動」の導入を図って一部試行を開始されている点に、運営基盤づくりが推進していると判断される。産学官連携の促進について、平成16年度に新設した「創造開発研究センター」や「社会連携室」を中心に共同研究、受託研究等の発掘に努め、いずれも前年度を上回る実績を得ている点が評価される。また、平成21年度までに光熱水費等の10%の削減を目指した「コスト削減アクションプログラム」を策定しており、その着実な実施が期待される。

中期目標・中期計画を実現するための取り組みとして、「中期目標・中期計画を達成するための具体的達成目標及び工程表」を作成し、項目毎の担当理事・部局を明示して責任の所在を明確にするとともに、四半期毎の達成状況を数値で表示して教育研究評議会、経営協議会に報告している点は評価される。

平成16年度は体制整備や方策づくりに一定の進展が見られるが、年度計画が未設定の事項も多く、今後の実行等は、運営確立に向けての課題である。

2 項目別評価

(1) 業務運営の改善及び効率化

運営体制の改善

教育研究組織の見直し

人事の適正化

事務等の効率化・合理化

平成16年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

各理事の下に総務・企画・評価機構、財務・経営機構、教育機構等5つの機構が設置され、その中に全学委員会が配置されるとともに、経営管理や将来戦略構築に向けて情報収集・分析を担うセクションとして企画課が新設された。また、附属病院については、その特殊性から、病院長に人件費・物件費の総額管理の裁量が与えられるとともに、学長を議長とし経営協議会学外委員、病院長等を委員とした「附属病院経営戦略会議」が設置されている。各部局には、副学部長、副病院長が配置されている。

法人化後の三重大学の将来ビジョンについて、学長から全学説明会において教職員に対し、三重大学を取り巻く環境と今後の方針について説明が行われた。

学長のリーダーシップの下に全学的視点から戦略的施策を推進するため、学内公募による三重大学 COE や三重大学教育 GP 等に約 2 億 4,000 万円が配分された。

経営・管理能力の開発のため、学長、理事、学部長を対象に外部コンサルタントを講師に招いたワークショップ並びに学長、理事、監事及び学部長を対象に合宿ワークショップが開催された。

学長による戦略的人員配置を推進するため、平成 17 年度の人員・人件費管理計画を策定し、定員の 97% の範囲内で運用し、その結果生じた教員数を活用し、高等教育創造開発センター、知的財産統括室等の全学的ポストに戦略的に配置することとされた。

経営協議会は年間 4 回開催され、学外委員からの指摘に基づき、「中期目標・中期計画を達成するための具体的達成目標及び工程表」が作成された。これは、各計画項目の担当理事・責任部局が明示されるとともに、四半期ごとの達成状況を数値的に報告・公表するものであり、戦略的・計画的な大学運営の観点から評価できる。

監事監査が年間を通して行われ、科学研究費補助金等の経理、病院経営、財務について、監査意見が報告された。また、総務部評価分析課に監査室を設置し、個人情報管理等に関して内部監査が実施された。

「教員個人評価に関する基本方針」を策定するとともに、課長以上の管理職員について業績評価制度が導入された。

教職員レベルでも PDCA サイクルを確立するため、学長主導により、教員、事務職員双方を対象として教員チャレンジ活動、業務改善活動、目標管理活動を行う「目標チャレンジ活動」の導入が進められた。

事務組織の見直しを行い、平成 17 年度の 4 課の廃止・統合及び図書・情報部の学術情報部への再編と社会連携課の創設を決定し、社会連携課長に公募により民間企業出身者が登用された。また、文書決済規程の見直しにより、専決者の大幅な見直しを行って事務手続きの効率化が図られている。

定年後も教育研究を推進できる優れた実績を持つ教員を受け入れるための「招へい教員の受入に関する規程」が制定されている。

本項目については、評価委員会の検証の結果、年度計画の記載 24 事項すべてが「年度計画を順調に実施している」又は「年度計画を上回って実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案すると、進行状況は「計画通り進んでいる」と判断される。

(2) 財務内容の改善

- 外部研究資金その他の自己収入の増加
- 経費の抑制
- 資産の運用管理の改善

平成 16 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

競争的研究費の獲得を促すため、科学研究費補助金の説明会が年3回開催され、334名の参加を得ている。

消耗品、光熱水費等について平成21年度までに10%の削減を目指した「コスト削減アクションプログラム」が策定されており、平成16年度は印刷製本費や光熱水費等の節減により、前年度比約2,500万円の管理的経費が節減された。

地域共同研究センターを改組して創造開発研究センターが設置されたほか、社会連携課を新設するなど、産学連携が推進されており、共同研究、受託研究は共に件数が増加している(共同研究件数は前年度比11%増、特に受託研究の受入額は115%の増)。

病院の在庫管理、職員の健康診断、職員宿舎管理業務等について外部委託を進め、業務の合理化が図られている。

施設・設備の維持管理業務、点検業務を部局から施設部に移管し、法人全体で一元的に実施することとしたほか、プリメンテナンスを効果的に実施するため「施設部点検・巡視グループ」を組織して、全学的な点検・巡視が行われた。

本項目については、評価委員会の検証の結果、年度計画の記載7事項すべてが「年度計画を順調に実施している」と認められ、上記の状況等から総合的に判断すると、進行状況は「計画通り進んでいる」と判断される。

(3) 自己点検・評価及び情報提供

評価の充実

情報公開等の推進

平成16年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

計画・実行・評価・改善のマネジメントサイクルを確立するため、自己点検・評価委員会において、認証評価や国立大学法人評価と連動した自己点検・評価のための評価項目、指標、データ項目が決定されている。また、「中期目標・中期計画を達成するための具体的達成目標及び工程表」が作成され、項目毎の担当理事・部局を明示して責任の所在を明確にするとともに、四半期毎の達成状況が数値で表示され、教育研究評議会、経営協議会に報告されている。評価の基盤となるデータベースについては、「教務情報データベース」、「教員教育研究活動データベース」の拡充が行われた。

地元テレビ局と連携した広報活動が進められるとともに、地域住民を対象とした広報誌が発刊されている。

本項目については、評価委員会の検証の結果、年度計画の記載5事項すべてが「年度計画を順調に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案すると、進行状況は「計画通り進んでいる」と判断される。

(4) その他業務運営に関する重要事項
施設設備の整備・活用等
安全管理

平成 16 年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

施設に関するトップマネジメント体制を確立するため学長を委員長とする施設委員会を設置し、全学部の諸室を調査し講義室の稼働率、実験室等の使用方法がデータベース化されている。プリメンテナンスを効果的に実施するため施設部点検・巡視グループを組織し、点検結果等により決定した優先順位に基づく各種工事が実施されている。

危機管理プロジェクトチームを発足させ、大学として対応すべき「危機」の概念規定を行った上で、想定される危機を洗い出し、学長を委員長とする三重大学危機管理委員会において対策が検討された。

本項目については、評価委員会の検証の結果、年度計画の記載 9 事項すべてが「年度計画を順調に実施している」と認められ、上記の状況等から総合的に勘案すると、進行状況は「計画通り進んでいる」と判断できる。

(5) 教育研究等の質の向上

評価委員会が平成 16 年度の進捗状況について確認した結果、下記の事項が注目される(又は課題がある)。

学生による教育満足度調査及び卒業生や就職先企業における教育評価が実施されている。

学長の下に研究機構を置き、学術研究の推進及び社会的な協力・連携の在り方等を企画・立案する研究・社会連携戦略会議が設置された。また、地域共同研究センターが創造開発研究センターに改組され、共同研究、受託研究を行う拠点とされた。

地域連携推進室の活動として、四日市市の協力のもとに「四日市フロント」が開設され、産学官連携コーディネータ 2 名を配置して、社会連携・地域連携業務推進体制が強化された。

安価な書籍購入システムの導入等により、値引き分を学生用図書費に充当し、学生一人当たりの図書費が増加された。

附属学校について、現職教員の研修の場として、短期的研修や公開研究会等を充実させるための方策を検討、実施したことは評価できるが、今後、大学、学部と一体となった取り組みを一層推進することが望まれる。